

## スポーツクライミング部の選手が好成績 ユース日本選手権（スピード、リード、ボルダー）

摂南大学（学長：久保康之）スポーツクライミング部の選手が、5月16日、17日のリードユース日本選手権で小田菜摘選手が優勝、藤田楓選手が3位を、6月6日、7日のボルダーユース日本選手権では藤田選手が優勝しました。2月14日、15日に実施されたスピードユース日本選手権では、今春本学に入学した小屋松恋選手が優勝しています。一連の大会の成績は7月18日～25日にイタリアで開催される「ワールドクライミング ユース世界選手権アルコ2026」の派遣選手選考に大きく関わっているため、選出に向けて期待が高まっています。

### 【本件のポイント】

- スポーツクライミング部の選手がユース日本選手権で好成績
- 7月にイタリアで開催される世界選手権の選手選考に大きく影響
- 寝屋川キャンパスに新たにボルダーウォールが完成



（左から）ユース日本選手権で好成績を収めた小屋松選手、小田選手、藤田選手

本学スポーツクライミング部は2022年4月、日本代表コーチを務める中貝次郎氏をヘッドコーチに迎えて発足しました。寝屋川キャンパス内にはリード用クライミングウォール（高さ12.5m、全幅9.5m）を設置しており、今夏にはボルダーウォール（高さ5m、全幅25m）の使用も始まります。いずれのウォールも国際大会で使用できる規格を満たしており、世界を見据えたトレーニング環境でリードの吉田智音選手（「IFSCクライミングワールドカップ2025」年間ランキング世界3位）ら日本代表に選出された6人<sup>※</sup>を含む部員が練習に励んでいます。

リードユース日本選手権で小田選手は、大会史上最多を更新する5連覇、通算6度目の優勝を果たしました。スピードユース日本選手権では小屋松選手が4連覇を達成しており、ともに圧倒的な強さを誇ります。藤田選手はボルダーユース日本選手権で公式戦初の優勝に輝きました。

本学はスポーツクライミング部をはじめ、ラグビー部、陸上競技部など7つの団体を強化団体に指定し、課外活動に打ち込む学生への支援に力を入れています。

### ※本学に在籍する2026年日本代表選出メンバー

- リード：吉田 智音（国際学科4年）、小林 舞（食品栄養学科4年）  
小田 菜摘（国際学科1年）、西尾 光音（経済学科1年）  
スピード：小屋松 恋（国際学科1年）、田淵 幹規（国際学科1年）

### ■スポーツクライミングの種目「リード」「ボルダー」「スピード」

リードはロープで安全を確保し、国内大会では高さ12m以上の壁でどこまで登ることができるかを競います。

ボルダーは高さ5m以下の壁に設定された課題（ルート）を登り、その達成度を競います。

スピードは高さ15mの壁をいかに速く登れるかを競います。

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 学生課（担当：山下、木下） TEL:072-839-9452

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報企画課（担当：石村、長谷川） TEL:06-6954-4026

Koho[at]joshu.ac.jp

※メールアドレスの[at]は@に変換してください。